

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：一般県道 幸地インター線インターチェンジ道路整備事業		前再評価年度：令和4年度		
	事業種別：高規格インターアクセス道路整備事業	事業主体：沖縄県		(H26 ~ R6)	
	事業箇所：西原町	根拠法令：道路法		事業期間：H26 ~ R8	
	総事業費(百万円) 11,000	費用内訳：補助 9/10		事業量：L=0.8km	
1-2 前再評価以降の計画変更	事業期間の変更を行った。				
2 再評価該当項目	<input type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input checked="" type="checkbox"/> ③ その他（事業期間の見直し）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他（事業期間の見直し） 施工計画変更等により事業期間の見直しが生じた。				
4 事業の進捗状況 (R5.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備済み(km)	用地取得(千㎡)	用地取得(筆数)
	計画	11,000	0.8	39.2	88
	実施済	6,895	0.0	36.9	82
	率	63%	0%	94%	93%
4-2 前再評価以降の主な進捗	用地取得及び工事進捗を図った。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 50年) (基準年 R5) (単位:百万円)	① 走行時間短縮 80,889 ② 走行経費低減 7,465 ③ 交通事故減少 1,050 総便益 89,404 基準年換算(B) 36,550	① 事業費(税抜き) 11,654 ② 維持管理費 4,373 総費用 16,027 基準年換算(C) 12,933	$費用便益比(B/C) = 36550 / 12933 = 2.8$		
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：「西原西地区土地区画整理事業」や「てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業」等により、本事業箇所周辺において都市基盤の整備が進められている状況である。 ② 地元・自治体：・特になし ③ 利害関係者：・特になし				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 当該路線の整備により、はしご道路の横軸である浦添西原線と縦軸の沖縄自動車道が接続されることで、はしご道路ネットワークが形成され、道路のアンバランスな使われ方の解消、交通渋滞の緩和、高速道路へのアクセス時間の短縮が期待される。 また、沖縄自動車道とてだこ浦西駅とを結節させることにより、自動車交通から公共交通への転換を促進し、那覇都市圏の交通渋滞緩和が期待される。 ② 事業の効率性（代替案等の可能性やコスト縮減）： 現在、全取得用地の約94%が取得済みとなっており、全筆の用地取得が完了する見込みであることから、現計画の推進が効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 現時点で整備完了し供用した区間はないため、事業効果は発現されていない。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：効率的な事業執行を行い、早期の事業効果の発現に取り組む。 ② 対住民関係：用地交渉を終え、全筆の用地取得が完了する見込みのためなし。 ③ 執行体制等：現体制で引き続き事業を推進する。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続（現計画） <input type="checkbox"/> ② 事業継続（見直し） <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	特に意見なし。				

* 1事業概要 の上段()は前再評価時点の計画